

みて！みて！きて！ ミニ情報



“ごみ問題について考えてみよう”

ごみ問題とは、何をしたらいいの？

ごみは原則に従い、「焼却をすればいい」というのではないと思います。上田市では平成 24 年度、48,765t のごみが出されています。一人当たり一日 824g（年間 300kg）およその計算で一世帯から年間 1t のごみが出され処理をされています。これらのごみを処理するのに年間約 12 億円、一世帯に換算するとおおよそ 2 万円かかっています。家庭用有料指定袋の負担だけではとても処理費には足りません。

では、どうするか。そこで考えるのは「3R」、つまり、リデュース（減らすこと）リユース（繰り返し使うこと）リサイクル（再資源化すること）です。一番大切なのはリデュースですが、その前にごみを出さない生活へ意識を変えることが必要ではないでしょうか。

必要以上に買って、余ったから捨てる、使い道もないのにタダだからもらう。このようなことは「やめる！！」

買うときに使い終わったときの処理方法も考えることは、市民の責任だと思います。

ごみを出さないのではなく「持ち込まない」、レジ袋はやめる、ラップや袋入りの野菜は買わない、過剰包装の製品は買わないなどによって、企業もごみになる物は作らず少なくなると思います。そして、使い捨てではなくリユース、つまり何回でも使うシステムを作って、牛乳びん、ビールびんはもちろんソースやドレッシングなども再利用できるようにしたらどうでしょうか。

以上、ごみを減らして最後にリサイクルをする。

ごみを減らすことは、環境を守ることでも必要ではないでしょうか。



このミニ情報のカレンダーにて毎月館内で行われる催しをお知らせいたします。催し物が無い日でも、気楽にお出かけください。良い情報交換ができると思います。

環境に配慮したグリーン購入のお手伝いとして、エコ文具の販売、ペットボトルから作ったネクタイの販売と、手づくりのリサイクル品、布ぞうり、袋物、さき織り製品等の販売をしています。

古着の回収

2月6日（金）午前10時から正午

時間内に持参してください。

ごみ減量にご協力ください。

衣類を燃やさずリサイクルしましょう。

発行者 「エコ・サポート21」
天神3丁目11番31号
電話 23-5144

平成27年2月号

| | | |
|----|---|-------------|
| 1 | 日 | 休館日 |
| 2 | 月 | |
| 3 | 火 | |
| 4 | 水 | |
| 5 | 木 | 裂き織り教室 |
| 6 | 金 | 古着回収日 |
| 7 | 土 | 休館日 |
| 8 | 日 | 休館日 |
| 9 | 月 | |
| 10 | 火 | |
| 11 | 水 | 休館日（建国記念の日） |
| 12 | 木 | 着物からベスト作り |
| 13 | 金 | |
| 14 | 土 | 休館日 |
| 15 | 日 | 休館日 |
| 16 | 月 | |
| 17 | 火 | |
| 18 | 水 | |
| 19 | 木 | 着物からベスト作り |
| 20 | 金 | |
| 21 | 土 | 休館日 |
| 22 | 日 | 休館日 |
| 23 | 月 | |
| 24 | 火 | |
| 25 | 水 | |
| 26 | 木 | |
| 27 | 金 | |
| 28 | 土 | 休館日 |

さあ！出かけましょう エコ・ハウスへ

古紙の分別のルールを守りましょう。

紙は再生に適した地球に優しい素材です。

再生される紙によって、使用される古紙の種類が異なるため、資源物回収後に古紙を再商品化するためには、基本的には5種類に正しく分別することが必要です。

それぞれが下記のように再利用されています。

- | | | |
|---|------------|-----------------------|
| 1 | 新聞紙（折込チラシ） | 新聞紙、週刊誌、印刷用紙など |
| 2 | ダンボール | ダンボール、紙筒など |
| 3 | 雑誌 | ダンボール、絵本など |
| 4 | 雑がみ（厚紙含む） | ” |
| 5 | 紙パック | トイレットペーパー、ティッシュペーパーなど |

そこで3つお願いがあります。

1 薄い段ボールが「雑がみ（厚紙）」として出されている間違いを資源物回収でよく目にします。

ダンボールの見分け方として、切断面から見て、紙と紙の間に波状の紙が挟まれている物は、たとえ薄くても「ダンボール」として出してください。

2 古紙に付いているビニールテープやガムテープなどは取り除いてください。

3 種類別に、ひもで十文字に縛って出してください。

体験コーナー

空き缶のリサイクル

牛乳パックのリサイクル

少しの時間で作れる物があります。

生ごみの堆肥化とごみ減量

わかりやすく、すぐ実行できるごみ減量法をアドバイスいたします。



* わくわく講座 * （参加費各回 100 円）

申し込みは、2月2日（月）以降、電話でエコ・ハウスへ（受付は電話のみ）。

裂き織り教室（定員 15 名）

日 時...2月5日（木）午前10時～正午

持ち物...裂いてもいい着物または布

材料費...500 円

注 意...当日は、織り方の説明のみ

着物地からベスト(前あきスタンドカラー)作り（定員 8 名）

日 時 2月12日（木）、19日（木） 午前10時～午後3時 （2回コース）

持ち物 着物（ほどいて）、裁縫道具、型紙用紙、昼食

諸経費 100 円

材料費 別途

申し込み、問い合わせ先

「エコ・ハウス」（上田クリーンセンター内） 上田市天神 3-11-31 23 - 5144

エコ・サポート 21 ホームページ <http://www.city.ueda.nagano.jp/hp/ecohouse/>